

論文審査の要旨  
(Summary of Dissertation Evaluation)

博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.)	博士 ( 文学 ) Ph.D.	氏名 (Candidate Name)	平野 裕次
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当		
論文題目 (Title of Dissertation) 戦時戦後の留学生政策に関する研究			
論文審査担当者 (The Dissertation Committee)			
主 査 (Name of the Committee Chair)		教授	中山 富廣
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		教授	本多 博之
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		教授	金子 肇
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)		准教授	奈良 勝司
審 査 委 員 (Name of the Committee Member)	森戸国際高等教育学院・教授		堀田 泰司
〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation)			
<p>本論文は、戦時期の留学生政策が戦後のそれに及ぼした影響やその変容について考察したもので、5章と序章・終章で構成されている。</p> <p>序章「本稿の課題と構成」では、戦前と戦後の留学生政策には連続性がなく断絶を強調する従来の研究史に疑義を呈し、また戦後の留学生政策を対象とした研究が、1980年代の「留学生受入10万人計画」策定の前後に集中していることを指摘する。</p> <p>第1章「戦時期の留学生政策」では、戦時期になってきわめて短期間のうちに実現した南方特別留学生事業が、現地での選抜から日本での予備教育、上級学校への配置までを統合した文部省の事業であったことを明らかにし、これが戦後の留学生受入政策や国費外国人留学生制度の原型となったと指摘する。第2章「戦後の留学生政策の形成」では、国費外国人留学生制度が創設された1950年代半ばの時期を対象に、外務省と文部省、そして外務省が1935年に設立した国際学友会の動向を分析したものである。国際学友会の監督・指導をめぐる外務省内での対立もあり、同会の留学生政策に果たす役割は縮小していったこと、対して文部省の国費留学生事業は経済協力事業として拡大していき、またその世話団体として設立された日本国際教育協会が発展して、国費留学生重視という基本構造が1950年代に形成されたことを明らかにしている。</p> <p>第3章「インドネシア政府派遣留学生の受入れ」では、1952年からまだ国交が回復していなかったインドネシア政府の要請で実現した留学生事業の全貌を明らかにしたものである。この事業は国際学友会が中心となって受け入れた事業であり、この事業には南方特別留学生事業の遺産が活かされていたこと、しかし国際学友会の受入れ態勢が十分ではなく、留学生受入れ事業の諸課題が浮き彫りになったとする。第4章「インドネシア賠償留学生の受入れ」では、1960年から開始された受入れ事業の全容を明らかにしたものであり、50年代のインドネシア派遣留学生ではほとんど存在感がなかった文部省が、この賠償留学生事業においては計画段階から大学への配置に至るまで積極的に関与したこと、またこの両事業は相手国政府の要請による集団的な留学生受入れの嚆矢となったとする。</p> <p>第5章「被爆した南方特別留学生と戦後の日本社会」では、広島で原子爆弾の犠牲となった南方特別留学生がどのように慰霊されてきたかを解明したものである。彼らを慰霊することを主導してきたのは日本政府ではなく、広島大学や戦後設立された民間の留学生受入団体であるアジア学生文化協会、さらには京都、広島、福岡などの民間の篤志家であったとする。この点に留学生受入れに携わる団体や市民が拡大して社会的な裾野が広がっていることを見出している。</p>			

終章「総括と今後の課題」では、戦時戦後の留学生政策には連続性が見いだせること、つまり戦後の留学生政策は、戦時動員体制、総力戦体制の時期に始まり、それが戦後の高度成長期に引き継がれて留学生受入れ10万人計画となったこと、また留学生政策の推進の中心が外務省・国際学友会から文部省・日本国際教育協会へと徐々に移行していったことなどを総括としている。

本論文は、外務省の外交文書を十分に活用して、留学生政策史に新たな光を当てた貴重な成果と評価できる。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士（文学）の学位を受ける十分な資格があるものと認める。

備考 要旨は、1,500字以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed 500 words.)